

## NPO 法人ふくい路面電車とまちづくりの会 (ROBA)

2001年2月設立 会員 47名

会費 3000円

設立の経緯 2000年に福井市が駅前電車通りの路面電車を活かしたまちづくりを進めるため3回連続のフォーラム「路面電車とまちづくり」を開催して仕掛け、目論見通り市民がROBAを発足。そのため、問題意識を共有する、県市職員、議員、学識経験者、マスコミ関係者、鉄道関係者、会社経営者、会社員、自営業者、ライター、学生など、多様なメンバーが集結。

■会長 内田佳次 ■月例会 毎月第2木曜

■歴史 鉄軌道の存続の合意形成活動を2度経験

■恒例行事 総会、講演会、カーフリーデー、環境フェア参加、パネル展参加など

■協議会等 交通・まちづくり関係・サポート団体等の協議会に委員として参加

■刊行物 ふくいのりのりマップ(電車バス路線図マップ:現在第20版)・ROBAニュース

■活動 ROBA定例総会、人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀設立協力  
さばえ環境フェア、福井市環境フェア等にパネル展示で出典  
カーフリーデーふくい2023開催

### ■地域のトピックス

北陸新幹線2024年春敦賀まで開業予定。並行在来線「ハピラインふくい」誕生。

ハピラインふくい、えちぜん鉄道、福井鉄道が連携。運輸連合的な施策。

福井鉄道・えちぜん鉄道相互乗り入れトラムトレイン。

福井鉄道、運転士不足で減便。F2000型 FUKURAM ライナー登場

## 金沢・LRT と暮らしを考える会

2003年9月設立

会員 15名

会費 年2,000円

●**本会の今年度の主な活動** 2023年7月1日に「〈地域活性化シンポジウム〉鉄道は地域にどう貢献するか——えちぜん鉄道、近江鉄道の事例に学び、北陸鉄道石川線のあり方を考える」を開催しました。宇都宮浄人先生に基調講演をいただき、伊東尋志様、山田和昭様にそれぞれえちぜん鉄道、近江鉄道の活性化の取り組みをご報告いただきました。その内容を踏まえ、本田豊先生のコーディネートのもと、本会を含む市民団体の代表も参加してパネルディスカッションを行いました。

●**北陸鉄道石川線の存廃問題** このシンポジウムの開催のきっかけになったのが、北陸鉄道石川線の存廃問題です。鉄道存続のほか、バス転換、BRT化が検討されていて、鉄道廃止の可能性も小さくないという状況でした。その後、7月4日の石川中央都市圏地域公共交通協議会で、「クロスセクター効果分析」と「費用便益分析(B/C)」の結果、石川線廃止の社会的不利益が大きいという報告がされ、バス転換は回避されました。ついで、8月30日の沿線首長の会議で鉄道存続の方向が決まりました。

今後は上下分離、費用負担等の運営方式のあり方とともに、利便性向上策が課題になります。短期の取り組みとしてバスとの乗り継ぎ割引、キャッシュレス化など、中長期の取り組みとしてIRいしかわ鉄道への乗り入れ・金沢駅直通、金沢市の新しい交通システムの一環としての香林坊への延伸・LRT化が課題になります。本会としては、まちづくりや暮らしの視点からLRT化への機運醸成、その目的や意義の理解促進のため、さらに粘り強く活動を続けていく所存です。